



身体的拘束ゼロ宣言

私たち医療法人秀林会 吉見病院は、2026年度診療報酬改定で示された「身体拘束のさらなる削減」という国の方針を、単なる制度対応ではなく、患者さんの尊厳を守る医療の根幹として受け止めます。

身体拘束は、患者さんの安全を守るために必要と判断される場面がある一方で、身体的・精神的な苦痛、ADL 低下、せん妄悪化、家族との信頼関係の損失など、多くの不利益をもたらす可能性があります。

私たちは、医療・看護・介護・リハビリ・事務を含むすべての職種が協働し、「身体拘束に頼らないケア」を標準とする病院文化をつくることをここに宣言します。

2026年4月

理事長 林 義則